



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2021/11/9 №45

八地申 「首都圏における拠点配置体制の 第1号 一部見直し」に関する申し入れ その②

第1項

首都圏における拠点配置体制の成果と課題を明らかにし、今施策に至った経緯と目的を明らかにすること

【組合】	【会社】
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでやってきた成果と課題はどのようなものがあるのか？ ・八王子支社の輸送影響度や出勤実績の傾向は？ ・コストダウンはどのくらい見込んでいるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備改良で輸送障害が着実に減少してきている。合同訓練や過去の実績に踏まえた訓練をやってきたため社員のレベルアップが図れている ・2019年度実績、合計7件。(三保・八保・拝島派出) 50キロ圏の輸送障害A総遅延時分では2008年は約18,000時間だったが、2019年度では約5,000時間前後ぐらい。全体的に減ってきている。 ・約5000万。

- ・輸送影響度や出勤実績など勘案されて今施策に至っている。
- ・コストダウンにおいては見極めながら優先順位を決め、安全・安定輸送を大前提とすることを確認!!

第2項

拠点配置箇所を一部廃止することから足ロスが発生することから各主管課、各指令、駅へ周知を行い、宿直者や夜間作業者が安全で確実な作業が出来る体制を確立すること

【組合】	【会社】
<ul style="list-style-type: none"> ・足ロスが発生することから宿直者や夜間作業者が安心して作業が出来るようにしたい。どのような対象箇所へどのような方法で周知を行っているのか？ ・現場まで意図が伝わるか問題意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労速報で関係箇所へ周知している。各主管課にも話をしている。 ・必要なのは、分かっている人間が急がさないことが重要。会社としてもどこにいるかという連絡は取らない。初動対応に集中してほしいし、色んなツールを活用して行っていくことを推進していきたい。

- ・宿直者・夜間作業者の安全や作業に集中できる体制にすることを確認!!
- ・各箇所へ手厚くお知らせしていくことを確認!!

その③へ続く～